

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号										
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目										
					A. 高い知性				B. 善美な情操		C. 高 雅 な 徳 性	D. 高い知性、 善美な情操、高 雅な徳性の総合			
					A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	C	D-1	D-2		
22MLAR1442	景観建築特論	1	先端的な景観建築の事例研究等を通して、景観建築の現代的な役割を理解し、具体的な景観建築の設計に展開するための知見を得ることを目的とする。	景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値と、国際社会、地球環境とのかかわりを理解するために必要な実践的知識を修得し、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。							◎	○	○	○	
22MLAR2431	景観生態学特論	2	生態系機能を発揮させ続けていくために必要な地域計画や土地利用施策に、科学的・論理的基盤を提供する学問である景観生態学について、その理論と研究手法について理解を深め、地域計画や土地利用へ応用することを目的とする。	景観生態学に基づき、適切な地域計画や土地利用を理解する能力を身につけることにより、自然との共生の視点から住環境を創生する実践的能力を向上させる。							◎	○			
22MLAR1451	建築都市緑化特論	1	環境に配慮した最新の緑化技術について事例に即して学び、景観建築設計に活用できるようにすることを目的とする。さらに環境配慮型の緑化を目指した栽培試験を行い、建築・都市緑化に適した植物の選択および低投入・省力型の管理法を検討する。	建築・都市緑化に適した植物やそれを用いた緑化技術を学ぶことにより、自然との共生の視点から住環境を創生する実践的能力を修得する。									◎	○	
22MLAR1422	景観緑地計画特論	1	景観建築分野における基本的な緑化計画の理論や手法について学ぶとともに、基本構想や基本計画等、各計画レベルにおける具体的な計画技術の修得を図ることを目的とする。	緑化計画の理論や手法、および具体的な計画技術を修得することにより、真に人間的な住環境を創生する実践的能力を修得する。				◎	○				○	○	○
22MLAR2461	景観緑化学特論	2	森林の再生技術や、緑化工法に関する理論や技術、さらに緑地が持つ防災機能や環境機能について学び、景観建築設計に活用できるようにすることを目的とする。また、建築・都市緑化への応用を念頭に、緑の療法的効果を取り入れた植栽を計画、作成、管理する。	安全、快適で自然と共生した建築・都市緑化を行うために重要な、緑化学にかかわる基礎的・先端的技術を積極的に吸収するとともに、吸収した技術を踏まえて空間を構成する実践的能力を修得する。			◎	○				○	○		
22MLAR1424	景観計画論	1	国内外の景観計画に関する歴史を概観し、その思想と展開手法、ならびに実現された景観について理解するとともに、景観形成史の流れを把握する。そのうえで、計画立案に先立つ基礎調査として必要な各項目の内容について理解することを目的とする。	自然との共生の視点を持ちつつ、機能的で文化的な景観を計画するために必要な実践的知識を修得し、真に人間的な住環境を創生するために必要な実践的知識を修得する。				◎			○		○		
22MLAR2421	景観設計論	2	景観建築において、構想や計画を具現化するために必要不可欠な、基本設計や実施設計についての理論や手法の習得を目的とする。	自然との共生の視点を持ちつつ、機能的で文化的な景観を設計するために必要な実践的知識を修得し、真に人間的な住環境を創生するために必要な実践的知識をより向上させる。				○			○		◎		
22MLAR1501	景観建築フィールドワークVA	1	建築物や町並み、公園、庭園、工事現場等の見学、あるいは講演会への参加を通じて、修士1年前期の演習や講義により学習する知識や技術についてより具体的、実践的に学ぶ。またレポートの作成等を通して、見学対象をより深く調査、理解、考察する。	修士1年前期の演習や講義等で学んだ知識をより具体的に理解、修得するとともに、景観建築がもつ美的、歴史的、文化的価値や自然環境、地球環境問題との関わりなどを理解する。また、継続的に学習できる能力を身につけ、自立的活動ができる職能人としての自覚を形成することを目指す。		○	○	○		○	◎	○			

